

鴨立庵だより

鴨立庵とは、江戸時代から続く俳諧道場である。初代庵主大淀三千風が開き、現在では京都の落柿舎、滋賀の無名庵と並び日本三大俳諧道場と呼ばれているでござるよ。



鴨立庵大使「えんいくん」
※俗名は佐藤義清(のりきよ)。
出家して法号は円位、後に西行。



上) 鴨立庵外観
下) 花の会



◆ 今月の俳句 1 ◆

藍色に染まる夏空 麦わら帽子

大磯町立大磯中学校 相原 颯

◆ 今月の俳句 2 ◆

沈黙のパーシヨベルや 冬の星

茨城県立並木中等教育学校 會澤 紬

◇ 今月の短歌 ◇

臆病な本音が増えて 大人びる
赤信号の長い交差点

愛知県立豊橋西高等学校 中村 颯汰

(評) 季節の言葉は「夏空」。「空」なんていつ見ても同じだと思ってしまう。雨が降ったり、くもったり、雪が降るときは違いますが、「晴れの日」はいつも同じ「空の色」だ。ところが、家の人に「帽子をかぶりなさい」とうるさく言われてかぶった「麦わら帽子」。この「麦わら帽子」をかぶって外へ出るようになる、「部活」の時でも、「プール」へ行くときでも、「空の色」が、ちよつと違うように思えてきたのでした。ちよつとむずかしく言うと「藍色」というのでしょうか。「深い青色」を美しいと思ったのです。

(鴨立庵庵主 本井 英)

(評) 季節の言葉は「冬の星」。星の中には、どの季節にも見えている星。季節によって見る機会が減ってくる星とさまざまあります。われわれ地球の北半球に住んでいる者には「北斗七星」とか「北極星」は、空が晴れていればいつでも見えますね。しかしオリオン座とか白鳥座となると「普通の時間帯」(日暮れから真夜中ぐらい)には見える季節と見えない季節があります。そんな「冬限定」の星々を見上げていたら、まるで「パーシヨベル」を思わせる「星の形」を見つけました。その力強い「形」には「音」がありませんでした。

(鴨立庵庵主 本井 英)

(評) 今までだったら、後先考えずに好きなことをやっていたのに。今までだったら、ノリでしていたことなのに。でも、今は一歩引くことが多い。守りに入ってるっていうか。それが、大人になることだと思ってたりもするけど、なんだかなあ。少年から大人へと変わってゆく自分を、客観的に、素直に見つめるまなざしが清らかです。交差点は、少年から大人へと渡る象徴であり、赤信号が長いのは、悩み、逡巡する少年の誠実な心を表わしています。

(西行祭選者 柳 宣宏)

講座の申込み・問合せ 鴨立庵 ☎(61)6926 定員 費用 持ち物

講座名	日程	時間	備考
連句勉強会	12月4日(日)	10:00~正午	連句づくりを楽しもう! 5期生募集中 講師:本井 英氏(鴨立庵庵主) 定15人 費2,000円(入庵料込)
寄席	12月10日(土)	開場 13:00 開演 13:30	演目:「鯉沢」「紙切り」「睨み返し」 演者:三遊亭 恋生、かみきりや、桂 三十助 定15人 費800円(入庵料込)
伝筆	12月11日(日)	10:30~正午	温かみのある文字が書けるようになる筆文字教室 講師:認定講師 わでん伝筆マスター 宮前 礼子氏 対象:中学生以上 定10人 費3,850円(材料費・入庵料込)
座禅	12月17日(土)	13:30~14:30	姿勢・呼吸・心を整えます 講師:豊田 素道氏(慶林寺住職) 定10人 費500円(入庵料込)
花の会	12月20日(火)	14:00~16:00	陶器を使った迎春アレンジ 講師:府川 葉月氏 定15人 費3,000円(入庵料込) 持はさみ、タオル、持ち帰り袋
俳句入門講座	12月25日(日)	10:00~12:30	俳句を詠めるって素晴らしい! 講師:本井 英氏(鴨立庵庵主) 定15人 費2,000円(入庵料込)